

外国送金のISO20022移行について（送金依頼方法の変更）

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、外国送金の代表的な決済ネットワークである SWIFT（国際銀行間通信協会）では、外国送金に使用する電文について新フォーマットであるISO20022を2023年3月20日より利用開始しています。

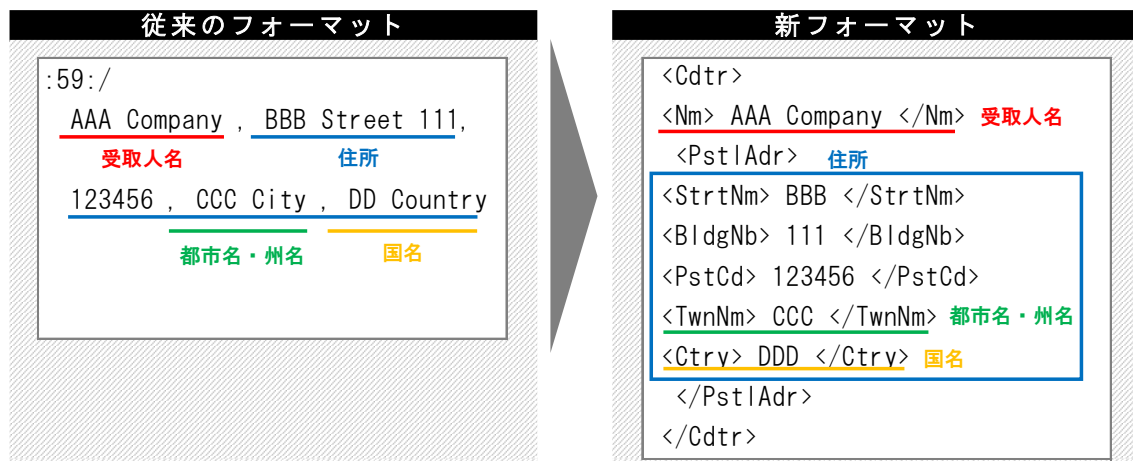
SWIFT を利用する全ての金融機関は2025年11月までに新フォーマットに移行することが求められており、当行におきましても新フォーマットへの対応を予定しています。

本対応は外国送金をご利用されるお客さまに影響が見込まれるため、ISO20022の概要およびお客さまへの影響についてご案内いたします。

ISO20022とは

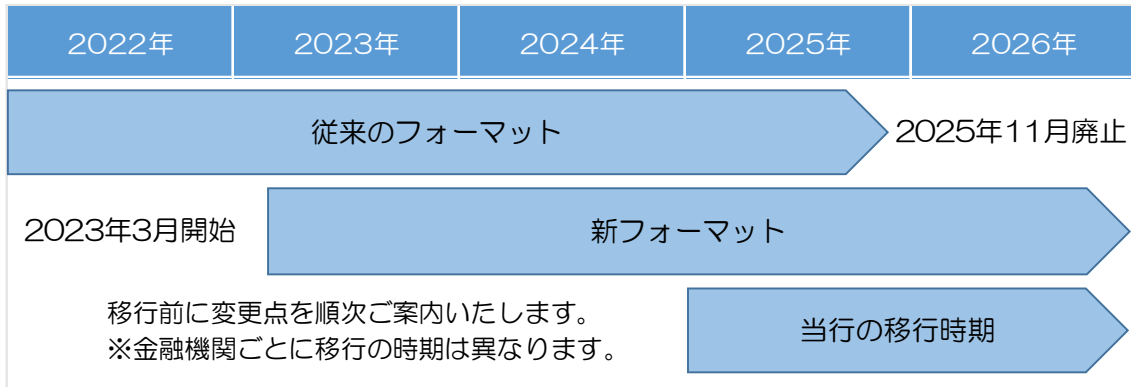
- ISO20022は金融通信メッセージフォーマットの国際標準規格で、SWIFTや世界各国の国内決済において採用されています。
- 従来のフォーマットでは、下図のように一つのフィールドに受取人名・住所・都市名・国名の多数の情報を入力していました。
- 新フォーマットは、XMLというコンピュータ言語に準拠したフォーマットであり、多くのシステムやソフトウェアでの活用において高い柔軟性や拡張性をもつ仕組みとなっています。

<ご参考>XMLは「Extensible Markup Language」の略で、日本語では「拡張可能なマークアップ言語」と訳されます。



移行スケジュール

- 各金融機関は2025年11月までに新フォーマットに移行することが求められています。当行におきましても2025年11月までに新フォーマットに移行する予定です。
- 百五外為WEBサービス等の外国送金をご利用のお客さまには、上記移行前に変更点を順次ご案内する予定です。



お客さまへの影響について

- 当行のISO20022移行後、百五外為WEBサービス等の各種仕向外国送金サービスにおいて、送金ご依頼時は新フォーマットに準ずる形式（送金依頼人・送金受取人・受取銀行の住所情報の構造化と細分化など）で外国送金データを作成いただく必要があります。移行前に準備でき次第、変更点をご案内いたします。

以 上